

# 平成19年度施政方針

## 協働のまちづくりの具現化

一般会計当初予算は、総額六十四億二七〇〇万円で前年度対比二・五%の減となっています。

地方交付税の削減が続き、今までの起債償還がピークを迎えることから枠配分方式による一般財源の八%削減を図り持続可能な行財政基盤の確立に努めています。

### 施策の主要な内容

#### 協働のまちづくり

協働のまちづくり指針に基づき、地域リーダーの育成、町職員の研修、区長、集落代表者の協力により全町的な協働推進体制を整備します。

#### 伯耆町型バス事業の開始

新年度からスクールバス、デマンド(予約方式)

バス、マイクロバス事業、

外出支援事業の4事業の

一元化を図り、町全域の

小中高校生の通学、高齢

者、障害者などの移動手

段を確保します。

します。

又、地場産品の活用や地

域ブランドの開発に向け

て具体的な作戦を検討し

ていきます。

#### こしき保育所改築

老朽化した「こしき保

育所」の改築工事を十九

年度単年度事業で実施し

ます。

#### 教育環境の整備

溝口・岸本両中学校の

三十三人学級を町費を使

って継続実施します。

教育の専門職として町

単独の予算で指導主事を

配置します。

#### 環境対策

恵まれた自然環境を次

世代に引き継ぐことは、

重要な使命であり自然と

人間が共存する地域社会

の形成に努めます。この

中で廃棄物の減量化を最

重点課題として、ゴミの

分別、ゴミ収集のステー

ション化に取り組みます。



こしき保育所イメージ図（坂長）

# 新年度予算決まる

## 溝口駅前整備完了

## こしき保育所着工

厳しい財政状況の中、平成十九年度予算が成立しました。

議員、町長、助役、教育長の特別職を始め一般職の給与削減、退職勧奨などにより人件費の削減と一般経常経費の削減が進められ、大型工事の溝口駅前整備事業が完了を迎え、念願のこしき保育所は多機能保育所として単年度完了を目指して着工することになりました。

一般会計の総額は六十四億二千七百万円で前年度より二・五％減となっておりますが、地方交付税、町税が減少する中で、まさに身を削ったの予算編成となりました。